

市庁舎の耐震化に CSJ 木村 俊子



質 市民の財産である市庁舎の耐震化の必要性や、市民の生命と財

産を守るための公共施設等適正管理推進事業債の活用は。

答 平成24年度に行った庁舎の耐震調査では、多くの調査個所で地震の震動や衝撃によって倒壊、崩壊する危険性のあるis値0.6未満となっており、災害時の防災対応の中核となる市庁舎は、建て替えなどの検討が必要と考える。

この事業債のうち市町村役場機能緊急保全事業は、耐震基準導入前に建設された庁舎の建て替え費用に地方債を充当し、起債対象経費の75%を上限に元利償還金の30%を基準財政需要額に算入する。本市は対象となるので庁内で検討を進め、市民から意見をいただき、ほかの公共施設との統合も見据え平成29年度中に更新の方向性を定める。

スポーツ課の設置に 向けて！ 宮武 祥子



質 スポーツ振興に向け、児童生徒の体力状況とスポーツリズム

の取り組みについて、現状や課題を質問しました。

児童生徒の体力状況は、全国平均を上回る傾向はあるものの、課題も見受けられました。基礎的な体力の向上のためには、学校外での運動も必要であり、その環境づくりが大切です。

また、近年注目を集めている体験型旅行の一つであるスポーツリズムは、本市の自然と温泉を融合して展開することが必要です。

スポーツへの関心がさらに高まっている今、子どもの体力向上やスポーツリズムを通じて地域活性化など、スポーツ振興を図るために、市役所にスポーツ専門の窓口となる課を設置するよう提案しました。

市役所本庁舎の 建て替え 辻 弘之



質 登別市役所本庁舎は昭和36年〜49年に建設されていることから、

耐震度も低く、将来的には建て替えが必要です。これまでは学校や市民が直接使用する頻度の高い建築物を優先的に取り組んできたため、本庁舎建て替えについては12年後以降に議論を本格化する方針でした。

しかし、熊本地震の被害状況を受けて、国による市町村役場緊急保全事業が急きよ設立され、財源確保がしやすくなる可能性が高まりました。このことから庁舎建て替え議論を早める提案を行い、市からは平成29年秋ごろには一定の結論を出すことを目標にしたいとの考えが示されました。

また、災害時に本庁舎が被害を受けた場合などに、行政業務が滞らないよう、業務継続計画の策定を行うこととなりました。

環境保全活動は 全市民の役目！ 二瓶 秀幸



質 近年、極端な気象変動や台風・竜巻、大雨などの自然災害が頻繁

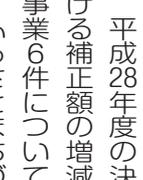
に発生しており、昨年の台風10号でも道内に甚大な被害をもたらした。

これは、二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化が影響していると言われているが、本市の環境保全の取り組みは。

答 二酸化炭素削減目標は、国の計画に準じて「平成42年度までに平成25年度対比26%削減」とし、対策実施により市全体で4万1千139tの削減を目指している。

目標を達成するため、市民は環境を意識して着実に行動することが大切であり、行政は率先した行動や普及活動に取り組む。水素社会に向かつては、民間企業の水素技術の活用により、水素エネルギーを身近に感じてもらおう取り組みを検討する。

予算・決算委員会 (平成28年度 補正予算審査) 千田 文孝



質 平成28年度の決算見込みにおける補正額の増減が大きかった事業6件について質問しました。

ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費では、クレジット決済化による寄附のしやすさ、返礼品の充実などにより、寄附金は1億5千万円を超える大幅増加。これに伴い返礼品などにかかる経費の増額を行っています。

平成29年第1回定例会における 議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
平成29年度登別市一般会計予算について	井野、小栗、藤尾、木村、工藤、杉、千田、渡辺、佐々木、戸井、成田、二瓶、松山、宮武、米田	渡辺、佐々木	可決
平成29年度登別市国民健康保険特別会計予算について			
登別市税条例等の一部改正について			